

一般質問(要旨)



議員 安藤 真理子  
いばらき自民党  
土浦市選出  
一括方式

郵便局と連携した行政サービス

議員 郵便局は自治体と連携し行政サービスを補完しているが、防災や県事業の広報など、より一層の連携に取り組むべきと考えられる。どのように進めていくのか。

知事 県では昨年、日本郵便株式会社と包括連携協定を締結し、高齢者の見守りや県の魅力発信などさまざまな取り組みについて連携を進めている。今後も意見を交換しながら、連携・協働できる分野や内容の拡充を検討し、県民サービスの向上に取り組んでいく。



議員 石井 邦一  
いばらき自民党  
太田市選出  
常陸一括方式

県北山間地域における救急医療体制の充実

議員 他県ドクターヘリの出動エリア拡大や本県ドクターヘリの体制充実、遠隔医療の導入など、県北山間地域のさらなる救急医療体制強化にどう取り組んでいくのか。  
知事 栃木・福島両県にエリア拡大を働き掛けるほか、ドクターヘリを補完する防災ヘリの救急出動が、来年七月に開始できるよう調整を進める。また、県北の救急病院に、脳卒中に係る遠隔画像診断治療補助システムを年内に導入し、救急医療体制の充実に取り組む。

医療的ケアが必要な障害者への支援

議員 医療的ケアが必要な障害者は、処置への不安や対人材の不足などから、施設などで受け入れてもらえない実情がある。どのように支援を進めるのか。  
保健福祉部福祉担当部長 医療的ケアに対する経験や理解の不足から受け入れが進まないため、引き続き、従事者向け研修などを開催するとともに、現場の実態を把握した上で必要な対策を講じていく。



医療的ケア(たんの吸引)

内水面漁業の成長産業化

議員 茨城をアユの聖地にするためには、天然アユの増殖だけでなく、アユにより地域産業を活性化し、雇用を生む取り組みが必要である。内水面漁業の成長産業化にどう取り組んでいくのか。  
農林水産部長 久慈川などへの安定的な県産稚アユの放流やアユを活用した地域振興策の検討と併せて、遊漁者数の増加対策などにより、内水面漁業の成長産業化を進め、地域全体の活性化を目指す。

(ほかに、久慈川の河川整備、常陸太田市内の治水対策なども質問)



救急現場に出動するドクターヘリ

予算特別委員会

質問者

- 加藤 明良 (いばらき自民党)
- 二川 英俊 (県民フォーラム)
- 山中 たい子 (日本共産党)
- 水柿 一俊 (いばらき自民党)
- 星田 弘司 (いばらき自民党)
- 井手 義弘 (公明党)
- 江田 隆記 (自民県政クラブ)
- 萩原 勇 (いばらき自民党)

予防接種の研修会などの機会を活用して、市町村に情報提供を図っていく。(ほかに、農業水利施設などの管理・更新、自転車の安全教育なども質問)

山中たい子委員(共産) 原子力災害に備えた避難所の面積を算出するに当たり、居住スペースとして使用できない面積が含まれていたと聞いている。有効面積の再点検を行い、その結果に基づいて、県・市町村の避難計画を見直す必要があると考えるが、所見は。  
知事 避難所の面積の確保状況については、避難元の十四市町村に確認の上、市町村間の協議状況を踏まえながら、県としても必要な支援を行っていく。(ほかに、訪問教育などの拡充、水行政の課題なども質問)

水柿一俊委員(自民) 県西地域ではイネ縮葉枯病が多発し、地域をあげて徹底した防除対策が必要だが、取り組み状況と今後の支援の見通しは。  
農林水産部長 県・市町・農業団体からなる対策協議会を設立し、特に被害の多い地域では市町・団体と協力して生育期間中の薬剤防除の経費を助成した。今後の支援については、防除効果などを検証した上で検討する。(ほかに、最先端科学技術企業と地元企業との連携、国体などの開催に向けた道路の維持管理も質問)

星田弘司委員(自民) 来年開催されるG20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合を活用し、世界に向けて茨城県をどう発信し、開港後どのようなレガシーを残そうとしているのか。  
知事 あらゆる機会を活用し、私自身が本県の魅力を積極的に発信していく。レガシーとして、企業誘致や誘客などにつながる取り組みや未来を担う子どもたち向けの取り組みを市町村などと協議しながら、前向きに検討していく。

(ほかに、タンDEM自転車の公道走行、中学校の部活動の在り方なども質問)

井手義弘委員(公明) 自然災害の広域化・激甚化を踏まえ、首都圏の防災拠点、復旧・復興拠点としての広域防災体制整備にどう取り組むのか。  
防災・危機管理部長 本県の広域交通ネットワークなどを生かすとともに、都内市区町村との災害時応援協定などに基づき広域支援ができると考える。また、被災地災害対応に貢献できるように、今年設立した「いばらき災害対応支援チーム」の能力向上も図っていく。(ほかに、県北芸術祭の在り方、市町村立学校へのエアコン設置なども質問)

江田隆記委員(自民) さまざまな面でプラスの影響が期待できる圏央道の四車線化について、一刻も早い実現を強く要望するが、今後の取り組みは。  
土木部長 県としては引き続き、国や東日本高速道路株式会社へ強く働き掛けを行っていく。加えて、沿線の市町村と密接に連携しながら、圏央道の四車線化を一日でも早めるという強い決意を持って、用地買収や工事に全面的に協力し、しっかりと取り組んでいく。(ほかに、がん対策、県立高校などにおける医学コースの設置なども質問)

萩原勇委員(自民) 儲かる農業を実現する上で、百畝規模の水稲メガファームの育成を推進する意義とは。  
知事 知事就任後、農地中間管理機構の体制を強化し、農地の集約化に全力で取り組むこととしたほか、三年間でモデル的に大規模稲作経営体を育成する、水稲メガファーム育成事業を創設した。二名の事業者を選定し、さらに最大三名を追加するなど、低コストで生産性の高い水田農業を確立していく。(ほかに、経営感覚を養う教育、県立高校へのエアコン設置なども質問)